

2006年4月27日
東京ガス株式会社

2005年度決算説明会 主なQ&A

Q:

中長期的な視点に立ったLNGの調達状況はどうか？需給はタイトになっていくのではないかと？

A:

短期的には世界のLNG需給はタイトになるという見方があることは否定できないが、中長期的に見ると供給ソースが増え、需要を上回ると見ている。当社では2010年代の半ばを見据え、魅力ある新規プロジェクトへの参画や自社輸送体制の強化など、供給安定性と価格競合力を担保するための調達戦略を展開していく。

Q:

電力会社による家庭用分野でのオール電化攻勢の影響と対策はどうか？

A:

傾向として、新築住宅におけるオール電化率は、当社供給区域内においても若干上昇している。当社ではこれに対抗すべく、厨房・給湯分野を中心に魅力的な商品の開発・拡販に全力を挙げている。お客さまにとって、エネルギーを選択するうえで、経済性に加え快適性や省エネ性といったさまざまな要素が重要であり、都市ガスは十分に対抗できると考えている。

Q:

子会社のエネルギーアドバンスに関し、売上高は増えるが利益は伸びない計画となっているが、なぜか？

A:

この会社は、エネルギーサービス事業を展開しており、旺盛な需要に対応すべく、しばらく積極的な設備投資を行う時期が続く。これに伴う減価償却費が増え利益の伸びを抑えるが、やがて投資の回収期を迎えることで利益に貢献していく。

以上